

## 【冬休み明けの予定・持ち物(全学年共通)】

	1月7日(火)	8日(水)	9日(木)	10日(金)
予定	朝会 4時間授業(給食なし) 12:15下校	4時間授業(給食なし) 12:15下校	5時間授業(給食あり) 書き初め(3,4年) 14:20下校	書き初め(5,6年)
持ち物	・上履き 連絡帳 筆記用具 ぞうきん 冬休みの宿題 ・国語・算数の教科書とノート ・白衣(当番だった人のみ)	・書写セット(3,4年) ・お道具箱(持って帰った学年。中身を点検補充して持たせてください。) ・絵の具・書写の墨汁等の中身の確認をしてください。	・書写セット・新聞紙一日分(3,4年) ・給食袋(マスク、帽子)	・書写セット・新聞紙一日分(5,6年) ・給食袋(マスク、帽子)

## 【冬休みの宿題、お知らせ】

### 〈1年〉

冬休みの宿題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・かきぞめ(なぞり1かい、れんしゅう2かい)</li> <li>・音どく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きゅうこんカード</li> <li>・カタカナ、かん字れんしゅう</li> </ul>
お知らせ	
<p>・かきぞめは、全てフェルトペンで書きます。お手本は、冬休み明けの授業で使用するので、捨てずに保管し、冬休みの宿題と一緒に提出します。ペン先がつぶれた場合には、新しいものを購入してください。</p> <p>・「きゅうこんカード」は、絵をクーピーで塗り、文章も書いた上で提出してください。学校でも使用している形式なので、子どもたちは記入の仕方を知っています。</p> <p>・カタカナの学習がすべて終わり、漢字は1年生で学習するものの半分が終わりました。しかし、学校でのスキル学習、宿題だけでは、なかなか定着しません。ご家庭でも継続した取り組みをお願いします。なお、漢字練習は、国語のノートに行います。進め方については、国語のノートに貼っていますので、ご確認ください。年明けから漢字テストを行います。</p> <p>・冬休み明けにも球根の観察を続けて行います。10日までに持って来てください。</p>	

### 〈2年〉

冬休みの宿題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・かきぞめ(なぞり1回・練習2回)</li> <li>・絵日記1枚</li> <li>・漢字スキル34まで(終わっていない人)</li> <li>・なわとび練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字プリント1枚</li> <li>・かけ算チャレンジカード</li> <li>・音読</li> <li>・けい算スキル24まで(終わっていない人)</li> </ul>
お知らせ	
<p>・漢字スキル、けい算スキル、漢字プリントは、丸つけまでお願いします。漢字プリントは、同じ内容を年明けにテストします。</p> <p>・かきぞめは、フェルトペンで書きます。・音読はいろいろな内容を選び、できる限り取り組んでください。</p>	

### <3年>

冬休みの宿題
・書き初め「友だち」(練習2枚のうち1枚を提出) ・漢字50問テストに向けてノートに漢字練習 (範囲:教科書 上 P118~下 P64)
お知らせ
・書初め用のお手本と紙ばさみは、1月9日(木)の本番でも使用しますので、書写セットと一緒に持たせてください。

### <4年>

冬休みの宿題
・書き初め「明るい心」(練習2枚のうち1枚を提出) ・漢字50問テストに向けてノートに漢字練習 (範囲:教科書 上 P116~下 P61)
お知らせ
・7日に漢字50問テストを行います。 ・「ミステリー」の物語を国語で学習しました。冬休みにぜひ読書に取り組みましょう。

### <5年>

冬休みの宿題
・書き初め「世界の国」(練習2枚のうち1枚を提出) ・家庭科「できるよ、家庭の仕事」 ・漢字50問テスト漢字練習 (見開き5ページ以上 範囲:教科書 P100~P165) ・古典の世界(二) (論語 or 漢詩のどちらかを暗記 どちらも覚えるも可)
お知らせ
・7日に漢字50問テストを行います。

### <6年>

冬休みの宿題
・漢字練習:漢字50問テストの練習を、漢字練習帳に5ページ分 ・家の手伝いカード:いつもの紙に5回分 *書き初めの宿題はありません。 ・家庭科「一食分のこんだてを考えて調理しよう」(主菜、副菜を調理する)(お子さんと取り組む日を相談してください)
お知らせ
・なし

### <5組>

冬休みの宿題
・ひとりひとりの課題に応じた宿題を出しています。詳しくは配信される「スマイル」をご確認ください。
お知らせ
・なし

## 専任のこぼれ話

先月オーストラリアで16歳未満の SNS 利用を禁止する法案が議会で可決されたというニュースが話題になりました。保護者の皆様はどのように受け止められたでしょうか。禁止になった背景には、子どもが SNS にのめり込み日常生活や心の健康に悪影響を及ぼしたり、悪質ないじめにあったりしていたことがあるようです。また、アメリカでも動画共有アプリ「Tik Tok」を禁止する法律が来月施行されるようです。

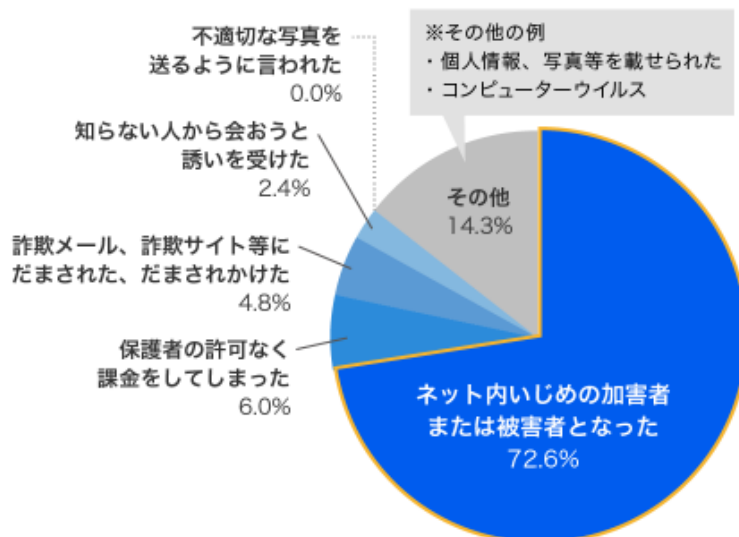
ただ、大人がいくら制限をかけたとしても、それで問題が解決されるわけではありません。子どもは制限をくぐりぬけ、これまで通り SNS を利用することが簡単に想像できます。

制限をかけることは子どもたちを守る一つの手段かもしれませんが、大切なことは大人が子どもたちに SNS の危険性を伝え、一緒に考え、見守り続けることではないかと思います。

ここ日本でもオーストラリアと同様のことが起こっており、小学校では年々 SNS トラブルが増加しています。自分には関係ない、自分は大丈夫と想着いても、SNS を利用している以上、いつトラブルに巻き込まれるかわかりません。子どもはまだ学ばなければならないことがたくさんあり、大人が見守っていかなければなりません。

2週間ほどの冬休みに入ります。是非ご家庭でも、お子さんと SNS の危険性について話し合い、使用する上でのルールを一緒に確認し、見守りを継続していただければと思います。

### 【小学生が実際に遭遇したインターネットトラブル】



出典:HOME ALSOK 研究所

アンケート結果

個人情報保護の観点から教職員がトラブルの元となるメールのやり取りや画像等を確認することはできず、対応することが難しいです。基本的に SNS のトラブルはご家庭で対応していただくこととなりますので、トラブルの未然防止に努めていただきますよう、よろしくお願いします。